

センターライン (2018)

メディア 映画

ジャンル SF サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 66分

初公開日 2019/04/20

公開情報 プロダクションMOZU

【キャッチコピー】

AIが心を持つのは、罪ですか？

【解説】

これが長編デビューとなる下向拓生監督が、AI（人工知能）による車の自動運転が普及した近未来を舞台に、事故を起こした車に搭載されていたAI自身を罪に問えるかを争う初めての裁判の行方を描いたSF法廷サスペンス。自動運転が普及し、人間の不注意に起因する事故がほとんどなくなった平成39年。ある日、車同士の正面衝突による死亡事故が発生し、新任エリート検察官の米子天々音は、事故車に搭載されていた人工知能“MAC02”を過失致死罪で無理やり起訴に持ち込む。するとMAC02は“誤作動ではなく、わざと殺しました”とまさかの供述。感情などないはずのAIの殺意を立証しようと奔走する米子だったが…。

【クレジット】

監督 下向拓生

脚本 下向拓生

撮影監督 JUNPEI SUZUKI

編集 下向拓生

音楽 山口いさお

出演 吉見茉莉奈 米子天々音

星能豊 大鳥

倉橋健 白鷺

望月めいり 深見蘭子

声の出演 上山輝 MAC02